

地域医療連携ニュース 院長挨拶



独立行政法人 労働者健康安全機構
中国労災病院
病院長 榎野 新

次第に暖かくなり心地よい季節になりました。病院駐車場のクスノキにも美しい淡紅色の若葉が芽吹いて早朝の目に沁みます。皆様方、いかがお過ごしでしょうか。

この4月から、労災病院の経営母体である労働者健康福祉機構は、労働安全衛生総合研究所と統合され、労働者健康安全機構（**Japan Organization of Occupational Health and Safety : JOHAS**）と改称しました。それに伴い、病院ホームページのアドレスが下記に変更されています。

www.chugokuh.johas.go.jp

当院の体制も少し変わりました。副院長の江藤高陽と勝部泰裕が定年となり、後任として整形外科の笹重善朗、内科の大屋敏秀が着任しました。江藤医師と勝部医師には引き続き診療を担当してもらっています。

地域医療連携室では、今まで皆様にお世話になっていた看護師1名が退職し、代わりに今まで病棟師長をしていた2名の看護師が4月から新しく連携室の専従となり、1名増員となりました。専従看護師が4名体制となります。

恒例の地域医療連携懇話会は、今年は5月26日（木）に開催を予定しています。皆様のご参加をお願い致します。（詳細につきましては追ってご案内を差し上げます。）

長い間ご迷惑をおかけしていました放射線治療装置の更新作業が7月に完了することになりました。8月から最新の治療装置が稼働する予定です。当院のがん治療が更に高度になるものと期待しています。日程が近づきましたら詳細のご案内をさせていただきます。

当院ではこれからも地域医療連携に力を入れていきたいと考えています。今までのご支援に感謝いたしますとともに、引き続きご交誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年4月